

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第271回

マーロン・ブランド

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年9月13日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

I can still taste that first beer
I bought with my own paycheck.

自分の給料で買った最初のビールの味を
まだ覚えているよ。

マーロン・ブランドは、アメリカ合衆国ネブラスカ州生まれの俳優。斬新な演技スタイルは、後進の俳優に多大な影響を与えた。タイム誌はブランドをアクター・オブ・ザ・センチュリー「20世紀最高の俳優」に選出している。

Column

高校生であるみなさんには、初任給を手にした喜びや、お酒の味をかけがえのない思い出と捉える人の気持ちはまだ未経験で理解できないことですが、『20世紀最高の俳優』と称されたマーロン・ブランドだとしても初の給料をもらう時はまだまだ駆け出しで『有名俳優＝セレブ』とは程遠い頃だったことが予想されます。どれだけ大きな成功を成し遂げても最初の“自分で自分へのご褒美”は忘れられないほど誇らしく、素晴らしい思い出として彼の中に残っているということでしょう。

みなさんも今は簡単だと感じることで小学生の頃は難しく感じていたことがたくさんあると思います。例えばサッカー部の人がリフティングを今なら100回余裕でできたとしても、10回もできなかった当時に初めて10回達成できた瞬間の喜びを今も覚えているでしょうか。またその瞬間を味わいたいという欲求に素直に従ってひたむきにチャレンジを続けているでしょうか。知識や技術が身につけば身につくほど、できることは増えていきます。しかし、もはや“初心者”ではないみなさんは、もしかしたら今掲げている目標が達成できたとしても現在のキャリアよりもまだまだ浅い頃のような喜びは感じられないのかもしれませんが、それは、少しだけ守りに入るからだとは私は考えます。以前よりも高い知識と技術を持ち合わせていれば、最短でないにしろ課題に立ち向かう時にクリアする方法もイメージできると思います。クリアできると計算がついた時点で『正解』がわかるわけで、失敗するわけにいかないというプレッシャーと、『最適解』のようなよりよい正解を出さないといけないプレッシャー両方に襲われるからです。そんな時に自分を支えるのは、全てが新鮮で全てが冒険だった頃の自分ではないでしょうか。今回は『初心忘るべからず』ということわざの英語版のような言葉を紹介しました。ネガティブに取り組んでいるうちは明るい未来なんて創造できません！全ての挑戦をポジティブ楽しんでいきましょう！